

01

「カット編集」機能を理解する

動画制作の基本となるのが「カット編集」です。具体的には、Premiere Proのプロジェクトに読み込んだクリップを再生順に並べ、不要な部分をトリミングすることが、主要な作業になります。

▶ シーケンスとは？

カット編集を始めるには、最初に「シーケンス」を作成します。シーケンスは「一連のもの、配列」という意味で、Premiere Pro ではクリップを再生順に並べた 1 本の映像のことを指します。クリップはプロジェクトごとに<プロジェクト>パネルにまとめられており、基本的にここから目的のクリップを<タイムライン>パネルにドラッグ&ドロップすることでシーケンスが作成されます。ただし、4K とフル HD といったように、仕様が異なるクリップを 1 つのシーケンスに混在させる必要がある場合は、事前にシーケンス全体の設定を済ませておく必要があります。

シーケンス

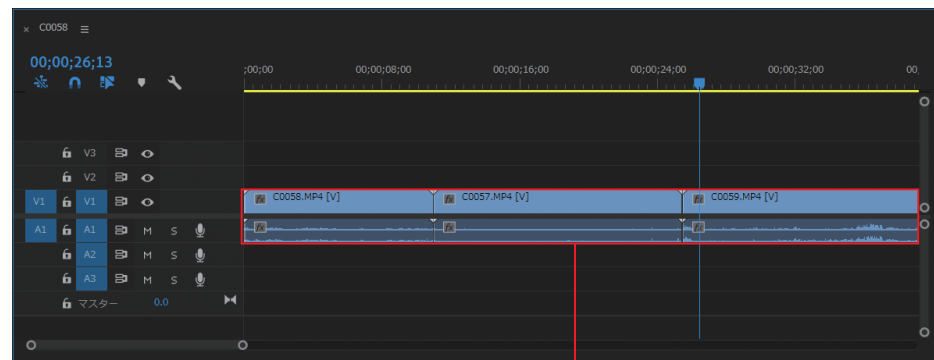
シーケンス設定

再生順（時間軸）



解像度：1,920×1,080
フレームレート：29.97fps
オーディオ：48kHz

タイムライン（シーケンスを時間軸で管理、編集）

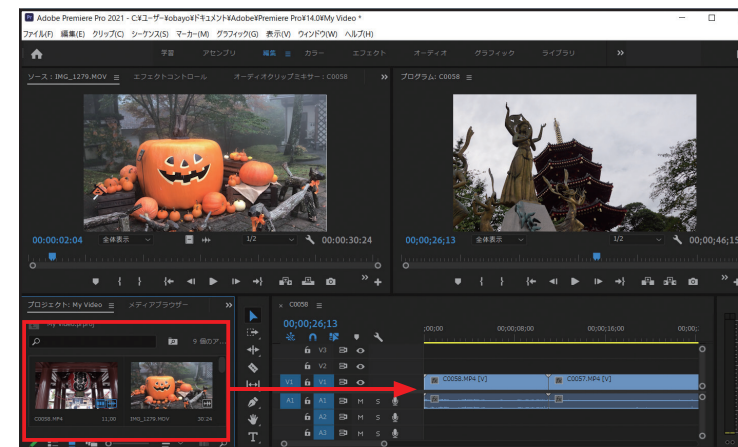


シーケンス

▲シーケンスはクリップを時間軸で管理し、再生順に並べるための入れ物と言える。シーケンスに対してカット編集を行う場所が<タイムライン>パネルとなる。

▶ カット編集とは？

Premiere Pro では、<タイムライン>パネルのシーケンスにクリップをドラッグ & ドロップで配置し、再生させたい順序に並べる、クリップの不要部分をカット（トリミング）するといった作業がカット編集になります。Premiere Pro には、カット編集に役立つさまざまなツールが用意されています。



◀シーケンスを作成すると<タイムライン>パネルに時間軸が表示される。ここに、<プロジェクト>パネルから映像や音声、静止画のクリップをドラッグ & ドロップして並べる。

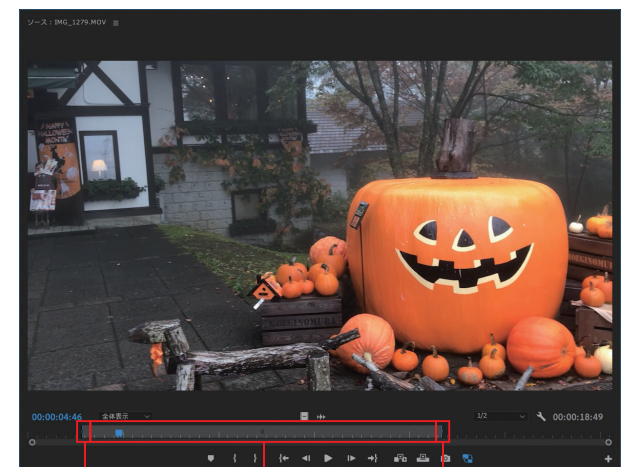


◀クリップの中で、不要な部分、冗長になってしまう部分は、必要に応じてカット（トリミング）する。トリミングは<タイムライン>パネル、あるいは<ソース>パネル、<プログラム>パネルで行える。

POINT

イン／アウトポイントとデュレーション

カット編集を行う前に覚えておきたいのが、「インポイント」「アウトポイント」「デュレーション」という 3 つの用語です。インポイントは映像や音声の「開始点」、アウトポイントは「終了点」、デュレーションはインポイントとアウトポイントで囲まれた映像や音声の「長さ」となります。インポイントとアウトポイントを設定し、使う映像だけを残すことが、カット編集におけるトリミングです。



インポイント

デュレーション

アウトポイント

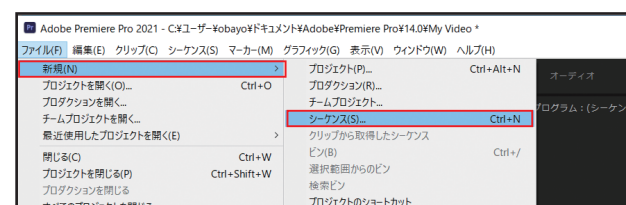
02

プリセットから
シーケンスを作成する

異なる仕様のクリップを1本の動画に混在させる場合は、最初に空のシーケンスを作成します。その際、最終的に出力する動画の仕様に合うプリセット（動画の仕様がまとめられたひな形）を選択します。

▶ プリセットを選択してシーケンスを作成する

プリセットは編集する動画の仕様がまとめられたものなので、使用するクリップの解像度やフレームレートに合わせて選択しましょう。たとえば、最終出力する動画をフルHDの解像度にした場合、以下のように解像度が「1920 × 1080 ピクセル」となっているものを選択します。

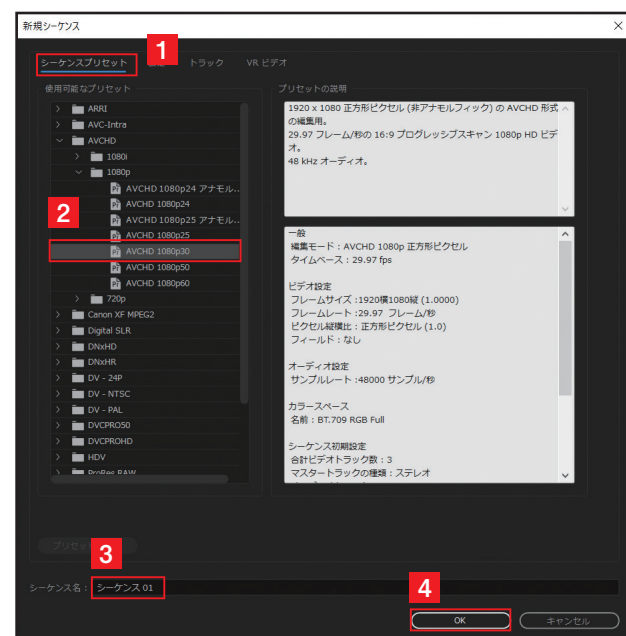


1 メニューをクリックする

＜ファイル＞メニューの＜新規＞→＜シーケンス＞をクリックします。[Ctrl]（Macの場合は[command]）+ [N]キーを押しても同様です。

2 プリセットを選択する

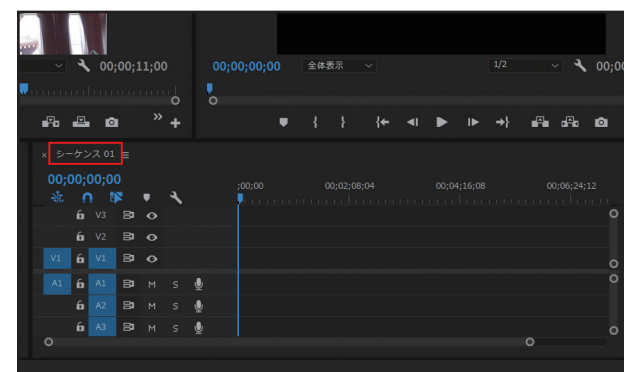
＜シーケンスプリセット＞タブをクリックして1、左側の一覧から目的のプリセットを選択します2。続いて＜シーケンス名＞にシーケンスの名前を入力して3、＜OK＞をクリックします4。



POINT

インターレースとプログレッシブ

ほとんどのプリセットは、「1080p24」「1080i30」など、「解像度（横幅）+ アルファベット + フレームレート」と表記されています。この中でアルファベットで表記されているのがプログレッシブ（p）とインターレース（i）です。これらは映像の表示方式で、プログレッシブは風景や静物などの精細な映像に向き、インターレースは動きの速い被写体を捉えた映像に向いています。

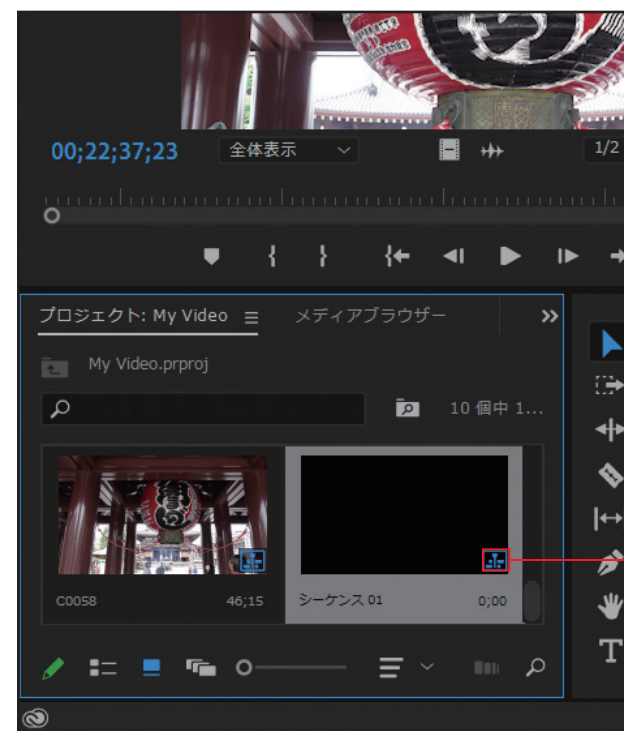


3 シーケンスが作成される

＜タイムライン＞パネルに空のシーケンスとその時間軸、トラックが表示されます。また、＜タイムライン＞パネルのタブにはシーケンス名が表示されます。

▶ シーケンスを開く／閉じる

シーケンスを作成すると、＜プロジェクト＞パネルにもシーケンスが追加されます。サムネイル右下のアイコンで、シーケンスとほかのクリップは区別できます。このシーケンスは映像や音声のクリップと同様に扱えるため、別のシーケンスにシーケンスを配置（シーケンスのネスト）して、長尺の映像を作ることもできます。

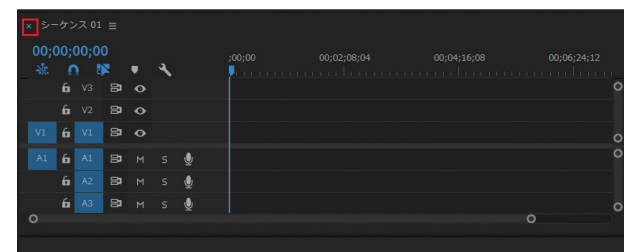


1 シーケンスをダブルクリックする

作成したシーケンスは＜プロジェクト＞パネルに追加され、図のようなアイコンが付きます。このシーケンスをダブルクリックします。

2 シーケンスが開く

＜タイムライン＞パネルでシーケンスが開きます。シーケンスのタブの[×]をクリックすると、シーケンスが閉じられます。



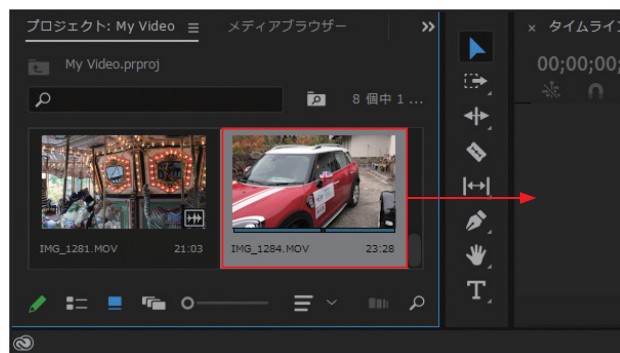
03

クリップに合わせたシーケンスを作成する

<プロジェクト>パネルでシーケンスが開いていない状態で、ここにクリップをドラッグ&ドロップすると、そのクリップの仕様に合うシーケンスが自動的に作られます。

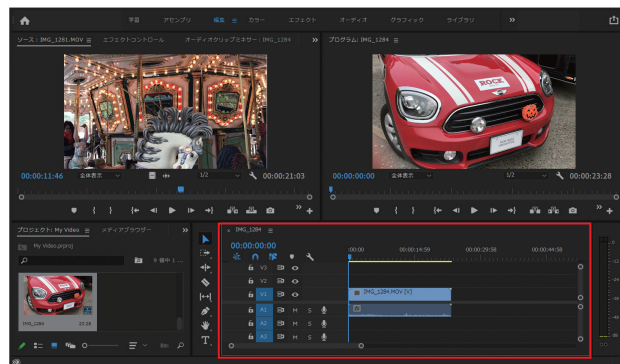
▶ クリップをドラッグ & ドロップしてシーケンスを作成する

空の状態の<タイムライン>パネルに、<プロジェクト>パネルからクリップをドラッグ & ドロップしても、シーケンスが作成されます。このとき、最初に配置したクリップの解像度、フレームレートに合わせて、シーケンスの仕様が自動設定されます。作品に使用するクリップがすべて同じ仕様の場合、この方法でシーケンスを作成するのがかんたんです。



1 クリップをドラッグ&ドロップする

<プロジェクト>パネルのクリップを、空の状態の<タイムライン>パネルにドラッグ & ドロップします。



2 シーケンスが作成される

シーケンスが作成され、タイムラインにクリップが配置されます。シーケンスの名前は、クリップのファイル名がそのまま付けられます。

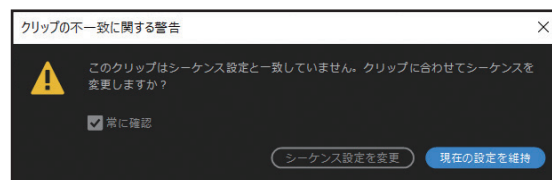
CHECK!

空の<タイムライン>パネルにピンをドラッグ & ドロップすると、ピン内のクリップがまとめてタイムラインに配置されます。

POINT

異なる仕様のクリップを配置すると？

作成済みのシーケンスに、そのシーケンスとは仕様異なるクリップを配置しようとする、メッセージが表示されます。このとき、<シーケンス設定を変更>をクリックすると、シーケンスの仕様が新たに配置したクリップに合わせて変更されます。<現在の設定を維持>をクリックすると仕様は変更されません。



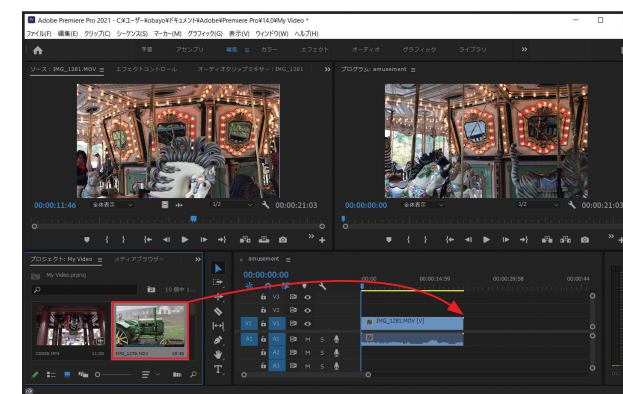
04

クリップをドラッグ & ドロップで挿入する

シーケンスにクリップを配置するには、クリップを<タイムライン>パネルの目的のトラック(縦位置)、時間軸(横位置)にドラッグ & ドロップします。この操作を繰り返して、複数のクリップを並べます。

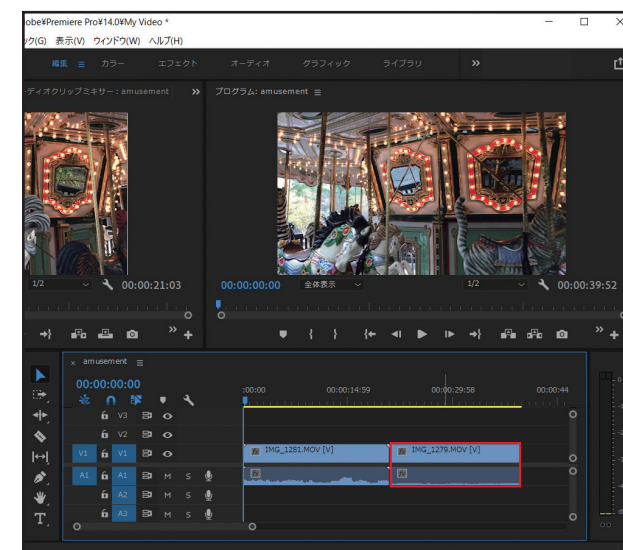
▶ ドラッグ & ドロップで配置する

クリップはドラッグ & ドロップでシーケンスに配置できます。以下の操作を繰り返して、動画を構成するクリップを再生順に並べましょう。このとき、クリップは再生ヘッドの位置や、すでに配置されているクリップの末尾、あるいは先頭にスナップ(吸着)するので、目的の位置に配置しやすくなっています。



1 クリップをドラッグ&ドロップする

<プロジェクト>パネルで目的のクリップを選択し、そのまま<タイムライン>パネルの目的の位置にドラッグ & ドロップします。



2 クリップが配置される

クリップがシーケンスに配置されます。

CHECK!

複数のクリップをまとめて配置するには、<プロジェクト>パネルで[Shift]あるいは[Ctrl] (Macでは[command])キーを押しながらクリップを選択し、ドラッグ & ドロップします。

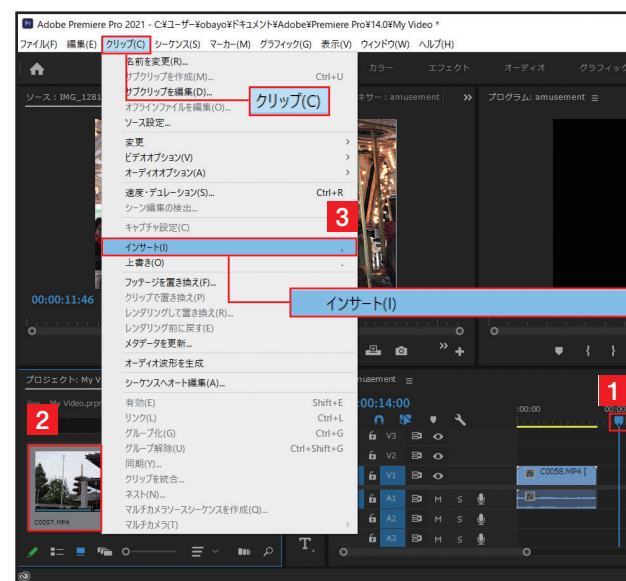
05

クリップを再生ヘッドの位置に挿入する

クリップはドラッグ&ドロップだけでなく、メニューからシーケンスに配置することもできます。メニューから行う方法は、タイムラインの再生ヘッドのある位置に正確に配置できるというメリットがあります。

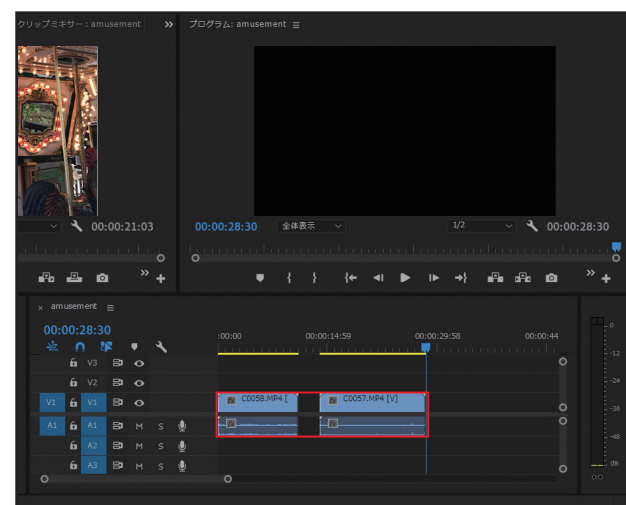
▶ 再生ヘッドの位置にクリップを配置する

クリップを秒単位、フレーム単位で正確に配置したい場合は、以下のように目的の位置に再生ヘッドを合わせておき、＜クリップ＞メニューから＜インサート＞または＜上書き＞をクリックします。2つのメニュー項目の違いは、異なるクリップを重ねて配置するときの挙動の違い(P.090 参照)なので、以下のように単一のクリップを配置する場合はどちらを選んでも同じです。



1 再生ヘッドの位置を決める

クリップを配置したい位置に再生ヘッドをドラッグして移動し**1**、＜プロジェクト＞パネルで配置するクリップを選択して**2**、＜クリップ＞メニューの＜インサート＞をクリックします**3**。

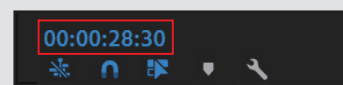


2 クリップが配置される

再生ヘッドの位置を先頭にして、クリップが配置されます。

CHECK!

再生ヘッドの位置を正確に決めるには、タイムコードをクリックして直接数値を入力すると便利です。また、**Alt+0**キーを押すことで細かく調整できます。



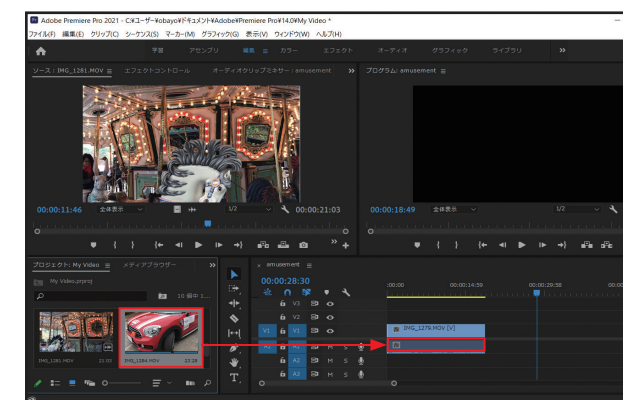
06

クリップを別のトラックに配置する

クリップは上下に重ねて配置することもできます。異なるクリップの映像を合成して演出効果を施したり、映像にBGMを付けたりする場合は、以下のように別トラックにクリップを重ねます。

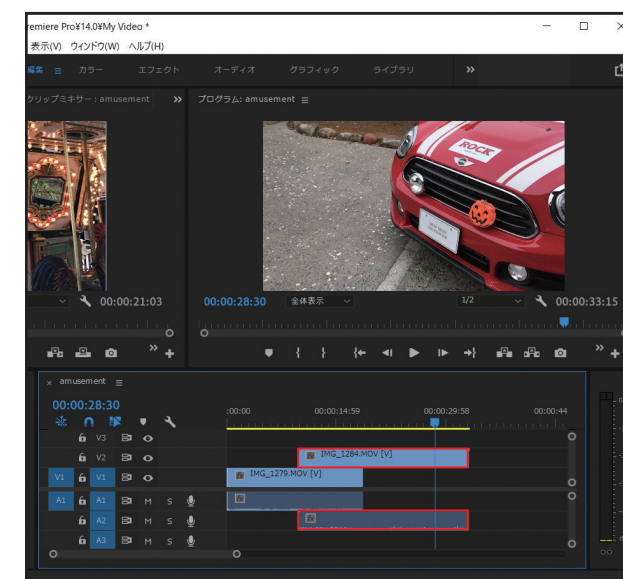
▶ ドラッグ & ドロップで別トラックに配置する

シーケンス上では映像、音声、静止画、文字、トランジションなどの演出効果のすべてが、独立したクリップとして並べられます。これらのクリップどうしを重ね合わせればさまざまな演出効果を得られますが、同じトラックにクリップを重ねることはできません。クリップを重ねるには、一方のクリップを別トラックに配置します。



1 別トラックにドラッグ&ドロップする

＜プロジェクト＞パネルから、クリップを＜V2＞のトラックにドラッグ&ドロップします。



2 別トラックに配置される

映像のクリップが＜V2＞トラックに、音声が＜A2＞トラックに、それぞれ配置されます。

CHECK!

実際にシーケンスを再生すると、重なった部分の映像と音声は、番号の大きいトラックに配置したクリップのものが優先されて再生されます。

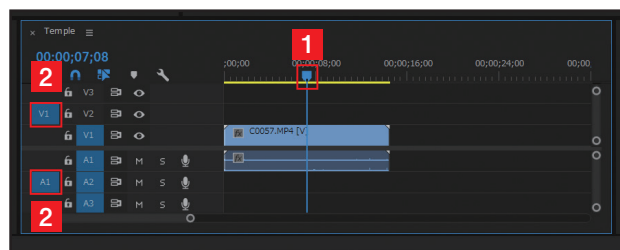
07

クリップを別トラックの指定した位置に配置する

メニューからクリップをシーケンスに配置する場合でも、配置先のトラックを指定することができます。この場合は、事前に目的のトラックのトラックヘッダーをクリックして配置の予約をしておきます。

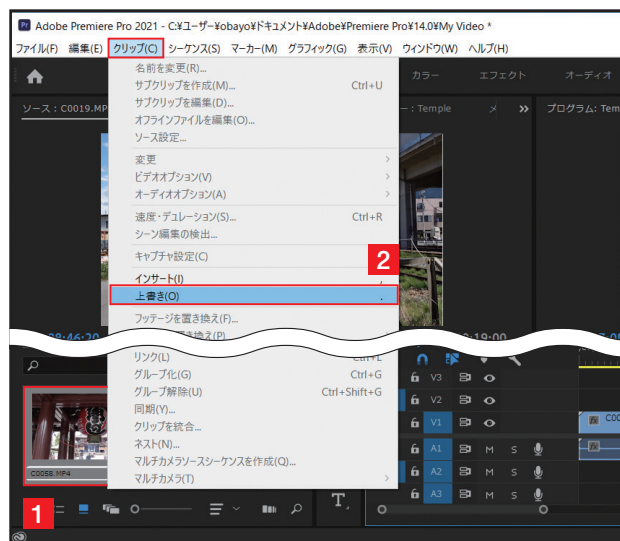
▶ ソースのパッチを切り替える

指定したトラックの再生ヘッドの位置にクリップを正確に配置する場合も、＜クリップ＞メニューの＜上書き＞あるいは＜挿入＞をクリックします。P.088 の操作との違いは、事前に配置先のトラックヘッダーにある＜挿入や上書きを行うソースのパッチ＞をクリックして、トラックを指定しておく点です。



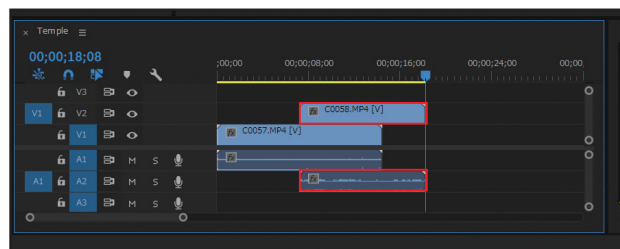
1 ソースのパッチを設定する

＜タイムライン＞パネルでクリップの配置位置に再生ヘッドを移動しておき**1**、目的のトラックの＜挿入や上書きを行うソースのパッチ＞をクリックして**2**、ソースのパッチを切り替えます。例では、＜V2＞と＜A2＞のトラックに切り替えています。



2 メニューをクリックする

＜プロジェクト＞パネルで配置するクリップを選択しておき**1**、＜クリップ＞メニューの＜上書き＞をクリックします**2**。



3 クリップが別トラックに配置される

クリップがソースのパッチを設定したトラックに配置されます。

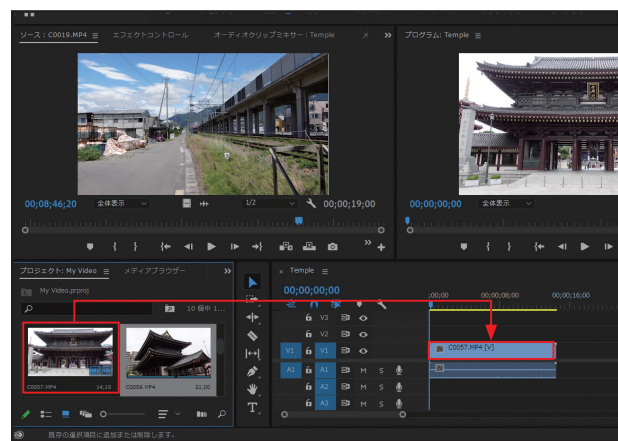
08

クリップを上書きする

すでにシーケンスに配置済みのクリップに別のクリップを重ねるようにドラッグ&ドロップすると、クリップが上書きされます。

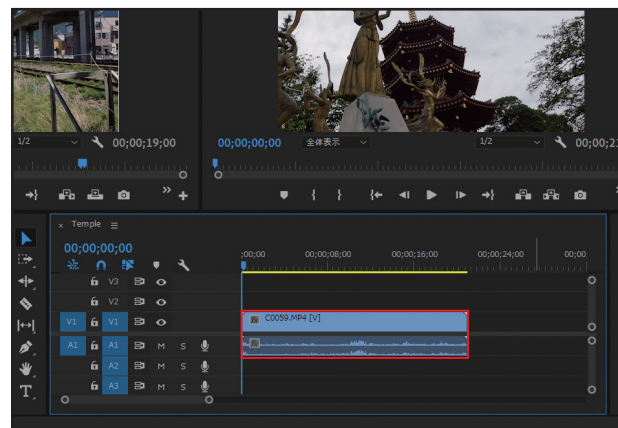
▶ クリップを別のクリップで上書きする

既存のクリップの一連の映像の中に別の映像を差し込みたい、既存クリップを新しいクリップに置き換えたい場合は、以下のように操作して新しいクリップを上書きします。重ね方によっては、既存クリップが自動的にトリミング、あるいは分割されます。



1 クリップをドラッグ&ドロップする

＜タイムライン＞パネルの既存のクリップに重ねるように、＜プロジェクト＞パネルから新たなクリップをドラッグ&ドロップします。ここでは既存のクリップ「C0057.MP4」に重ねます。



2 クリップが上書きされる

既存のクリップ「C0057.MP4」が、新たなクリップ「C0058.MP4」に上書きされます。既存のクリップの重なった部分は、新たなクリップの映像に置き換えられます。

POINT

メニューから上書きする

メニューからクリップをシーケンスに配置する場合は、＜クリップ＞メニューの＜上書き＞をクリックすると、再生ヘッドのある位置に新たなクリップが上書きされます（P.090 参照）。

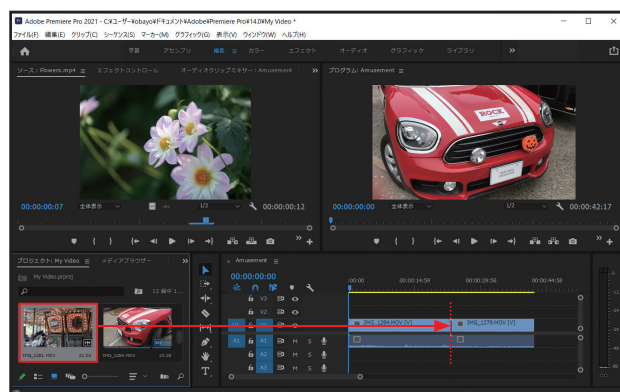
09

クリップをクリップ間に
挿入する

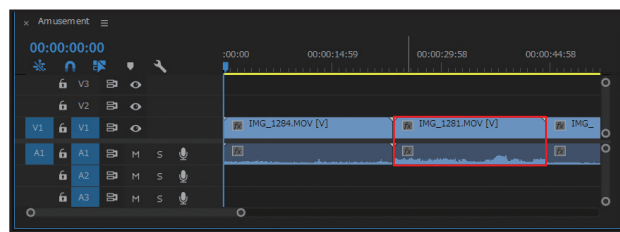
クリップの間に別のクリップを挿入するには、**[Ctrl]** (Macでは**[command]**) キーを押しながら目的の位置にクリップをドラッグ&ドロップします。

▶ クリップ間に別のクリップを挿入する

同じトラック内でクリップどうしを重ねると、通常は上書き (P.091 参照) になり、重ねられたクリップの一部、あるいはすべてがタイムラインから消えてしまいます。ドラッグ&ドロップで重ねる際にインサートモードに切り替えることで、既存のクリップはそのまま、新たなクリップを目的の位置に挿入することができます。挿入位置よりあとに配置されていたクリップは、そのままタイムラインの右方向にスライドします。

1 キーを押しながら
ドラッグする

<タイムライン>パネルの既存のクリップの間に、<プロジェクト>パネルから新たなクリップを**[Ctrl]** (Macでは**[command]**) キーを押しながらドラッグ&ドロップします。



2 クリップが挿入される

既存のクリップ「IMG_1284.MOV」と「IMG_1279.MOV」の間に、新たなクリップ「IMG_1281.MOV」が挿入されます。

POINT

メニューから挿入する

メニューからクリップをシーケンスに配置する場合は、<クリップ>メニューの<インサート>をクリックすると、再生ヘッドのある位置に新たなクリップが挿入されます (P.088 参照)。

POINT

1 本のクリップ内にドラッグすると？

インサートモードで、既存の1本のクリップの途中にドラッグ&ドロップすると、既存のクリップは分割されて (P.098 参照)、その間に新たなクリップが挿入されます。

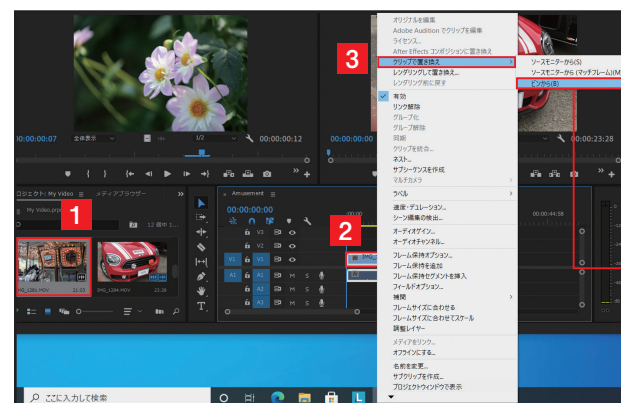
10

クリップの長さを変えずに
置き換える

すでにシーケンスに配置済みのクリップを別のクリップに置き換えるには、メニューの<クリップで置き換え>コマンドを利用します。このコマンドを利用すると、クリップの長さを変えずに置き換えられます。

▶ <クリップで置き換え>コマンドを利用する

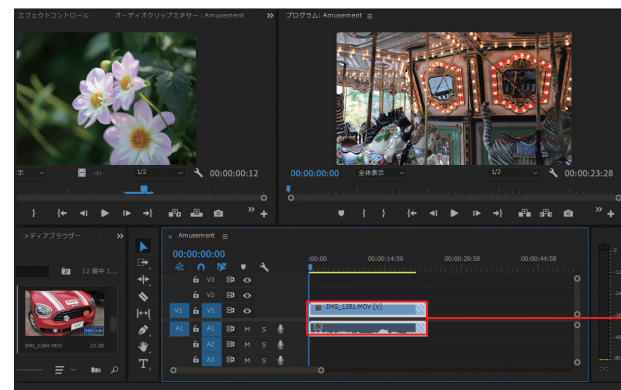
<クリップで置き換え>コマンドは、シーケンス上の既存のクリップの長さを維持したまま別のクリップに置き換えるためのものです。シーケンス全体の長さを変えたくない、あるいは後続のクリップに影響を与えずにクリップを置き換えたいといった場合に利用するとよいでしょう。既存クリップより置き換えるクリップが長い場合は、置き換えるクリップの末尾がトリミングされます。置き換えるクリップが長い場合は、映像と音声のないクリップで余白が埋められます。



1 メニューをクリックする

<プロジェクト>パネルでクリップを選択し**1**、<タイムライン>パネルで既存のクリップを右クリックして**2**、<クリップで置き換え>><ピンから(B)>をクリックします**3**。

ピンから(B)



2 クリップが置き換えられる

シーケンスのクリップが、<プロジェクト>パネルで選択したクリップに置き換えられます (ここでは「IMG_1284.MOV」から「IMG_1281.MOV」)。クリップの長さは、置き換えられたクリップと同じになるように自動調整されます。

IMG_1281.MOV [V]

POINT

<クリップで置き換え>のサブメニュー

<クリップで置き換え>のサブメニューである<ソースモニターから>と<ソースモニターから (マッチフレーム)>をクリックすると、<ソース>パネルに表示しているクリップで、シーケンスに配置されているクリップが置き換えられます。

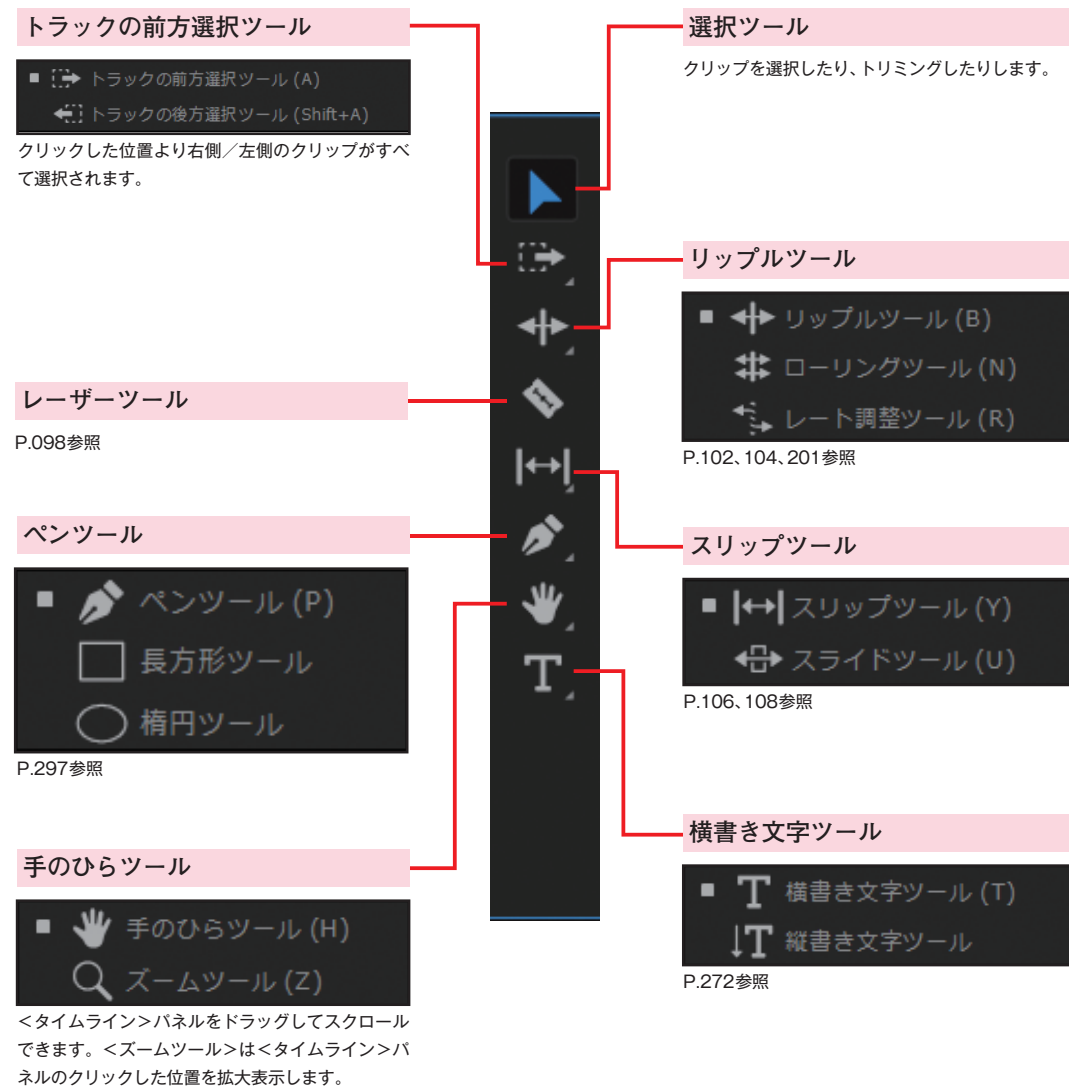
11

ツールを利用する

<ツール>パネルには、さまざまな操作を行うためのツールがまとめられています。とくにクリップの選択やトリミング(P.100参照)を行うためのツールは、頻繁に使うことになります。

▶ 各ボタンの役割を確認する

<タイムライン>パネルでクリップを選択、削除、移動、トリミングする場合は、<選択ツール>や<リップルツール>といった各種ツールを使用します。使用するツールは、<ツール>パネルで目的のボタンをクリックすることで選択できます。また、ツールの中にはボタンを長押ししてメニューから切り替えるものもあります。



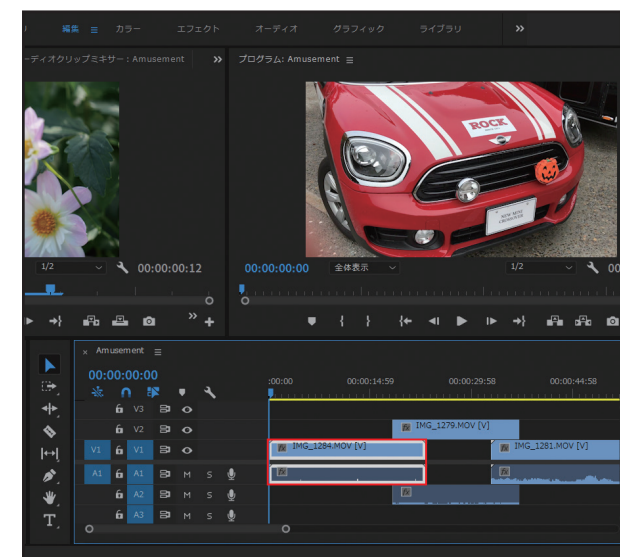
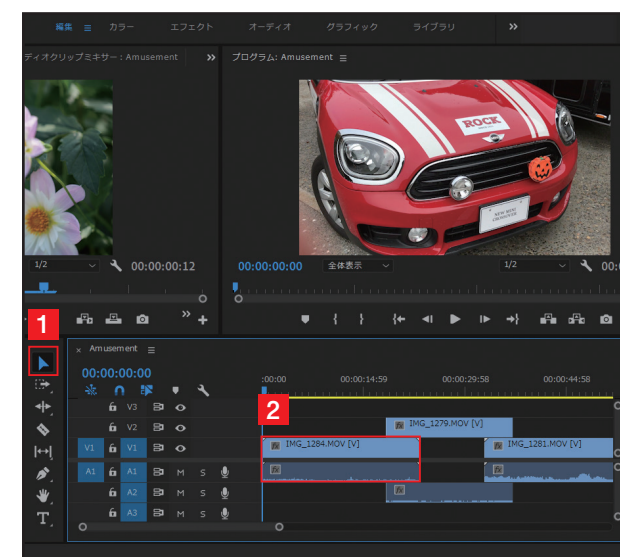
12

クリップを選択する

クリップはクリックすることで選択できます。クリップの選択は、クリップをタイムライン内の好きな位置に移動したり、削除したりするために必要になる基本操作です。

▶ クリックしてクリップを選択する

Premiere Pro でさまざまな編集や加工を行うにあたって、クリップの選択は基本中の基本となる操作です。選択されたクリップはグレーになるので、ほかのクリップとひと目で見分けがつくようになっています。



1 クリップをクリックする

<ツール>パネルで<選択ツール>をクリックし1、<タイムライン>パネルで、目的のクリップをクリックします2。

2 クリップが選択される

クリップが選択されます。選択中のクリップはグレーの背景色になります。

CHECK!

クリップの選択を解除するには、ほかのクリップをクリックして選択するか、<タイムライン>パネルの余白部分をクリックします。

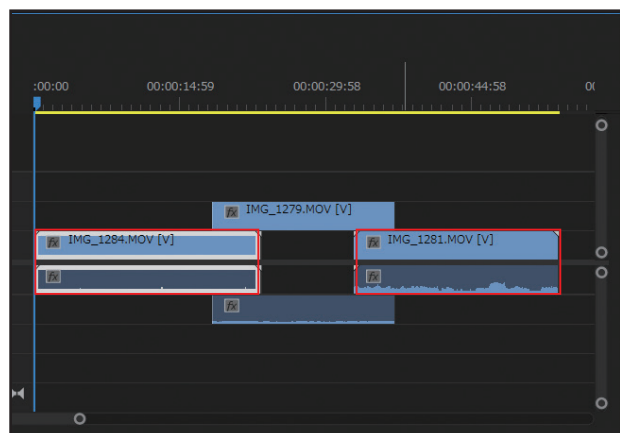
13

クリップをまとめて選択する

シーケンスに配置された複数のクリップをまとめて移動したい、削除したいというような場合は、最初に複数のクリップを選択します。複数のクリップを選択するには、**[Shift]**キーを押しながらクリックします。

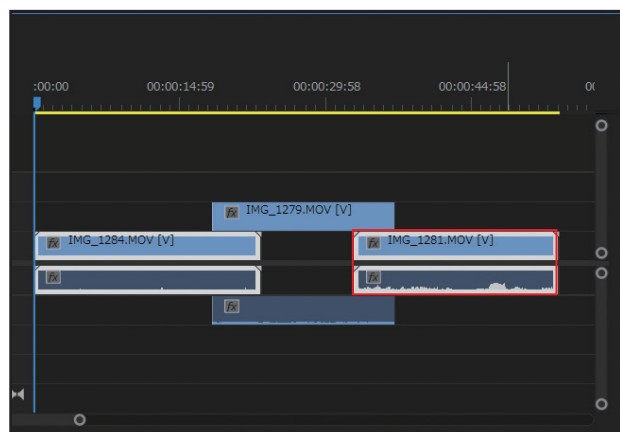
▶ 複数のクリップを選択する

<タイムライン>パネルで複数のクリップを選択するには、**[Shift]**キーを押しながらクリップをクリックする方法と、<タイムライン>パネル上をドラッグすると表示される枠でクリップを囲む方法があります。複数のクリップに対して、同じ操作をしたい場合などは、いずれかの方法でクリップを選択しておきましょう。



1 **[Shift]**キーを押してクリックする

1つのクリップをクリックして選択しておき、**[Shift]**キーを押しながら別のクリップをクリックします。



2 複数のクリップが選択される

[Shift]キーを押しながらクリックしたクリップが追加選択されます。

CHECK!

<プロジェクト>パネルでは、**[Ctrl]** (Macでは**[command]**) キー、あるいは**[Shift]**キーを押しながらクリップをクリックすることで複数選択できますが、<タイムライン>パネルでは**[Shift]**キーのみで複数選択できます。

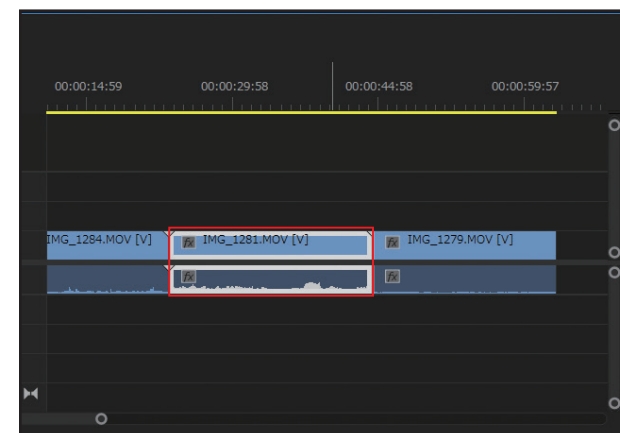
14

クリップを移動する

シーケンスに配置したクリップの再生位置を変えたい場合は、クリップを移動させます。タイムライン内の別の位置に移動したい場合は、目的のクリップを選択してから、目的の位置にドラッグします。

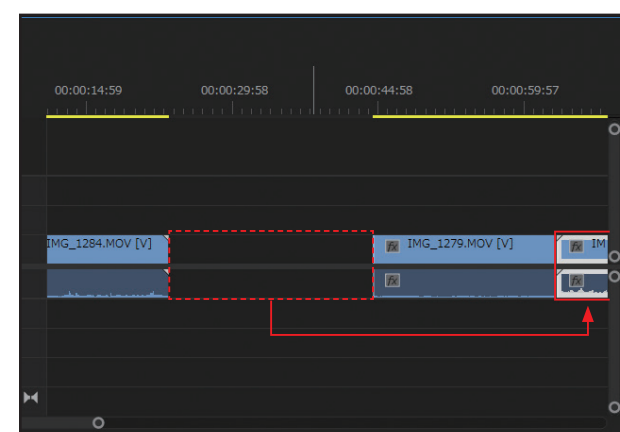
▶ ドラッグしてクリップを移動する

シーケンスの時間軸(横方向)でのクリップの位置は、映像の再生順序に直結します。クリップの再生位置を前後にずらしたい、クリップの再生順序を入れ替えたいといった場合は、クリップを左右方向にドラッグして移動します。また、上下にドラッグすることで、クリップを配置するトラックを変えることもできます。



1 クリップを選択する

移動するクリップをクリックして選択します。



2 クリップをドラッグする

クリップを横方向にドラッグすると、同一トラック内の別の位置にクリップが移動します。

CHECK!

正確な位置にクリップを移動したい場合は、あらかじめ目的の位置に再生ヘッドを移動しておき、その位置にクリップをドラッグします。再生ヘッドにクリップが吸着するので、狙った位置に移動しやすくなります。

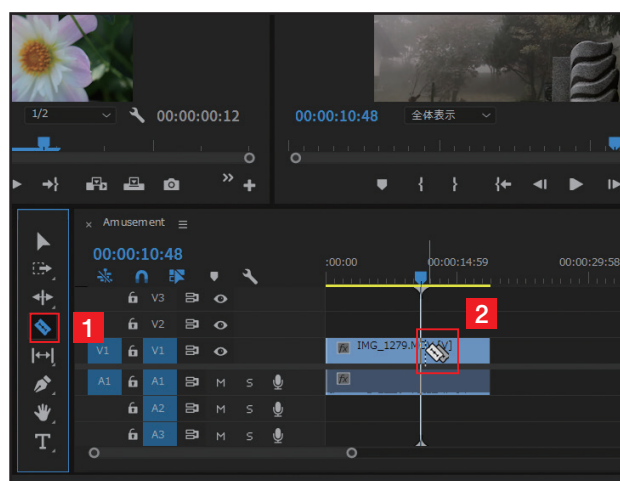
15

クリップを分割する

配置したクリップは、任意の位置で分割することができます。分割したクリップ間にトランジションなどの特殊効果を挿入したり、再生時間の長いクリップを短くしたりするといった用途で使えます。

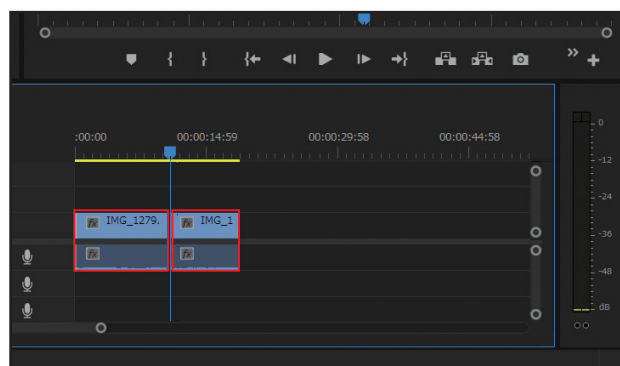
▶ 任意の位置でクリップを分割する

クリップを任意の位置で分割するには、＜レーザーツール＞を使用します。あらかじめ分割位置に再生ヘッドを移動しておけば、＜プログラム＞パネルでその場面を確認しながら分割することができて便利です。



1 ＜レーザーツール＞に切り替える

＜ツール＞パネルで＜レーザーツール＞をクリックして**1**、クリップの分割位置にポインタを合わせ、クリックします**2**。



2 クリップが分割される

クリックした位置でクリップが分割されます。

POINT

分割したクリップをもとに戻す

クリップの分割直後であれば、**[Ctrl]** (Mac では **[command]**) + **[Z]** キーを押すことで、分割を取り消すことができます。それ以外の方法で分割したクリップをもとに戻すには、分割した一方のクリップを削除してから、もう一方のクリップを＜選択ツール＞を使ってドラッグし、もとのデュレーションにします。

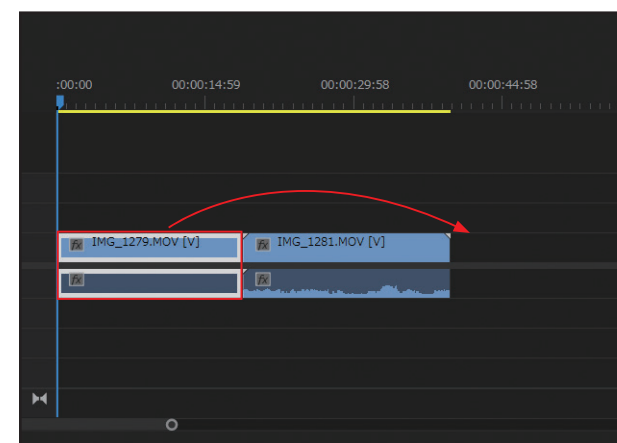
16

クリップを複製する

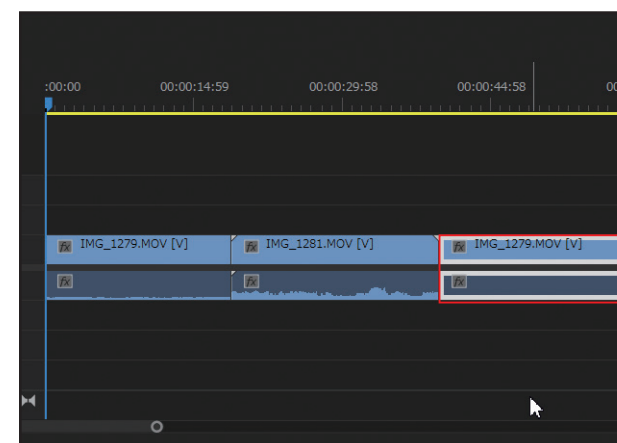
シーケンスに配置したクリップから、まったく同じ内容のクリップを複製することができます。クリップの複製は、同じ場面の繰り返し再生や逆再生、スローモーション再生などの演出に活用できる機能です。

▶ ドラッグして複製する

クリップを複製するには、**[Alt]** (Mac では **[option]**) キーを押しながら目的の位置にドラッグ & ドロップします。また、クリップを選択して **[Ctrl]** (Mac では **[command]**) + **[C]** キーを押してコピーし、複製したい位置に再生ヘッドを移動してから **[Ctrl]** (Mac では **[command]**) + **[V]** キーを押すことでも複製できます。

1 **[Alt]** キーを押しながらドラッグする

複製するクリップを **[Alt]** (Mac では **[option]**) キーを押しながら目的の位置にドラッグ & ドロップします。



2 クリップが複製される

ドラッグ & ドロップした位置にクリップの複製が作成されます。

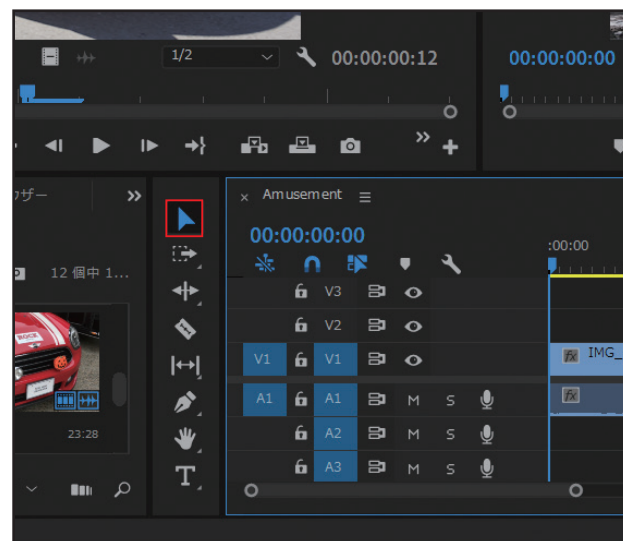
17

選択ツールでトリミングする

クリップの不要部分をカットして、必要な部分だけを残すことを「トリミング」といいます。Premiere Proにはさまざまなトリミング方法がありますが、まずは「選択ツール」の使い方をマスターしましょう。

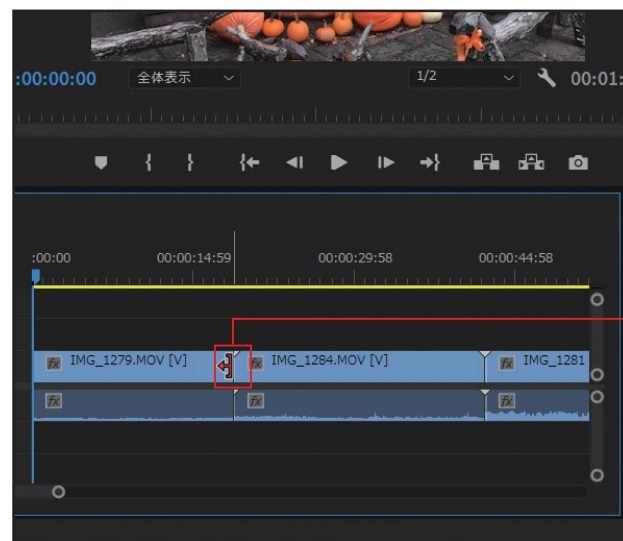
▶ クリップの両端をドラッグしてトリミングする

<タイムライン>パネルでクリップをトリミングするには、<選択ツール>を利用します。<選択ツール>では、クリップの左右両端に表示されるマーカーをドラッグして、クリップの残したい部分を囲むようにすると、囲まれた範囲外のクリップをシーケンスから除外できます。除外といっても実際にデータが削除されるわけではないので、いつでもクリップをもとの長さに戻すことができます。



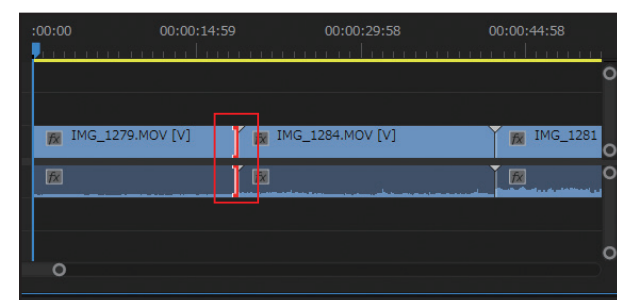
1 <選択ツール>に切り替える

<ツール>パネルの<選択ツール>をクリックします。



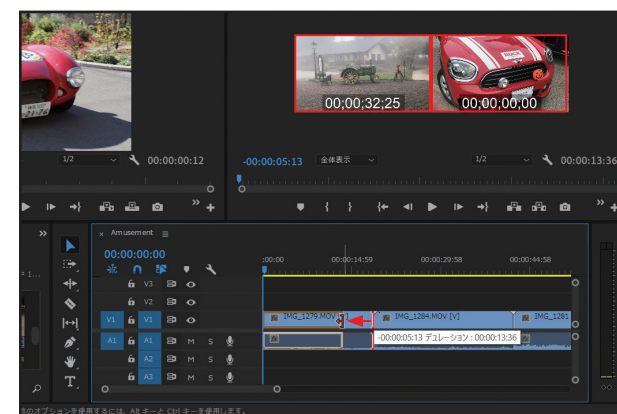
2 クリップの端にポインタを合わせる

トリミングするクリップ左右端のいずれかにポインタを合わせると、ポインタの形が図のように変わります。



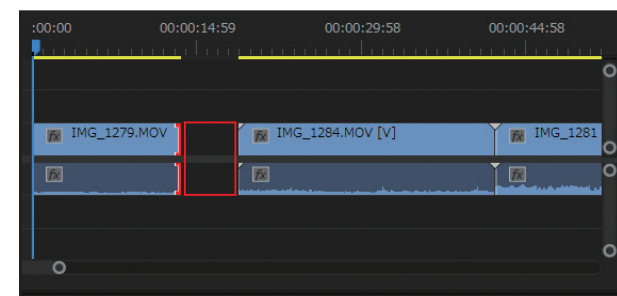
3 アウトポイントマーカーを表示する

手順2でポインタの形が変わった位置でクリックすると、赤いマーカーが表示されます。図で表示されているのは、クリップの終端部分に表示されるアウトポイントマーカーです。



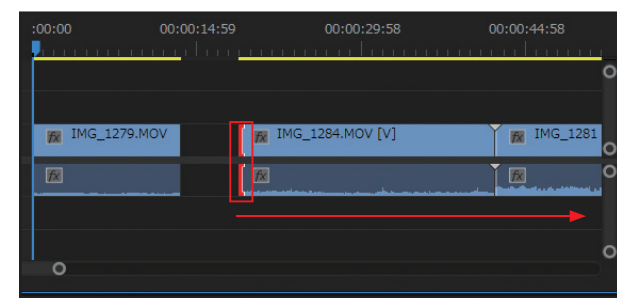
4 ドラッグする

アウトポイントマーカーを左方向にドラッグします。ドラッグ中は<プログラム>パネル左に現在ポインタがある位置の映像、右にドラッグを開始した位置の映像が表示されます。



5 トリミングされる

目的の位置でマウスのボタンを放すと、クリップがトリミングされ短くなります。トリミングによってできたクリップ間の隙間（ギャップ）はそのままです。



6 インポイントマーカーを表示する

<選択ツール>でクリップの左端をクリックすると、インポイントマーカーが表示されます。これを右にドラッグしてもトリミングできます。

CHECK!

トリミングでは、クリップを短くすることは可能ですが、もとのデュレーションを越えて長くすることはできません。

CHECK!

トリミングしたクリップをもとに戻すには、目的のクリップのインポイントマーカー、あるいはアウトポイントマーカーを表示して、それぞれをトリミング時とは逆方向にドラッグします。